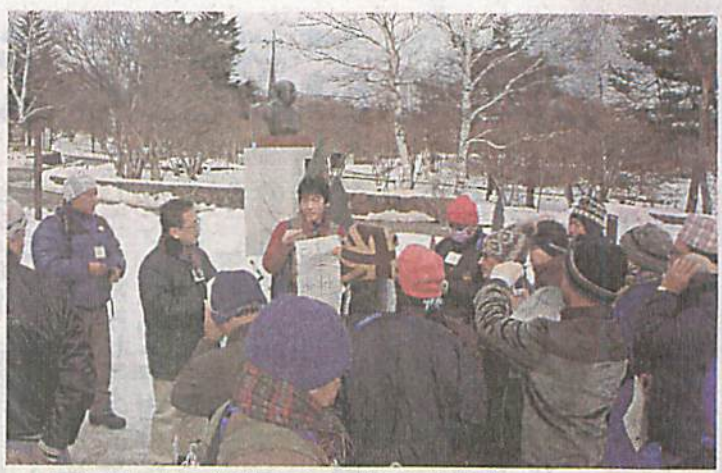


ネパールから研修団 エコツーリズム体験

キープ協会が受け入れ

ネパールの公務員や観光業関係者が20日まで、北杜市高根町清里のキープ協会などで、地元自然資源を活用するエコツーリズムに関する研修を受けている。



エコツーリズムについて学ぶ参加者
＝北杜市高根町清里

国際協力機構（JICA）の事業の一環。アジア10カ国から約150人が日本を訪れ、約1カ月間の研修で日本の観光地での具体的取り組みなどを体験しながら、自国で

実施するアクションプランの策定を行う。
ネパールからは15人が1月末に来日。8月20日は清泉寮に宿泊し、ヤマネの調査研究や環境保全への取り組み、インタプリテーション（自然解説）技術などを講座を通して学ぶほか、スパティオ小淵沢でそば打ちプログラムなどを実践体験したりする。

同協会では3月にラオス、4月にマレーシアの1団も受け入れに協力する。同協会の鳥屋尾健さん（34）は「日本と環境の違いはあと思うが、各国で今後取り組む持続可能な観光開発のヒント

が提供できたら」と話していた。

北杜・小淵沢図書館 存続求め署名提出

市へ小中校保護者ら

北杜市立図書館の適正配置をめぐり、小淵沢小と小淵沢中のPTA会長が9日、同市

